

[目 次]

1999・10

ページ

SKYLIGHT 〈今月の焦点〉	宇宙項最前線	坂井伸之	502
EUREKA 〈研究紹介〉	2体問題の解析的解法を264年ぶりに発見して、 レファレンスのない論文を書いた!	佐藤 勲	510
短期連載	カリストエクスプレス—美しき等時曲線— その1 いろいろな等時曲線	福江 純	514
書評	宇宙をうたう		521
シリーズ	《 ^{そらと} 天空翔ぶ天文台(9)》 ガンマ線天文衛星 GLAST	平山昌治	522
雑報	1998年博士・修士論文タイトル一覧 その1		524
月報だより			527
星空市場			530

[表紙説明]

スタンフォード大学を中心に開発を進めているガンマ線天文衛星 GLAST (Gamma-ray Large Area Space Telescope) の構想図と分解図。シリコンストリップ検出器と CsI 結晶の組合せた大面積の対生成型ガンマ線検出器で、ガンマ線の到来方向とエネルギーを同時に測定することができ、数十 MeV から数百 GeV にわたる広いエネルギー範囲で、これまでにない広視野、高感度、高空間分解能を持つ。計画では、5年以上の長期にわたって全天サーベイ観測を行う予定である。ブラックホール、パルサー、ガンマ線バースト、ガンマ線宇宙背景放射などさまざまなガンマ線天体を数多く詳細に観測することにより、高エネルギー天体における大規模な粒子加速、銀河の進化、暗黒物質などといった問題を究明してゆく。
(シリーズ参照)

(表紙イラストレーション：藤居保子)